
劣化しつつある政策決定 プロセスをどう変えるか

2017年1月18日

日本経済研究センター研究顧問
小峰隆夫

何をするかという政策の中身だけでなく、それをどう決定し、実行していくかという政策プロセスの議論も重要

1. シルバー民主主義をいかに修正するか
2. ポピュリズム的政治をいかに修正するか
3. エビデンスに基づいた政策決定をいかに定着させるか

シルバー民主主義の弊害をどう防ぐか

日本は世界一の人口オーナス国家なのだから世界に先駆けてシルバー民主主義への対抗策を試みるべきである

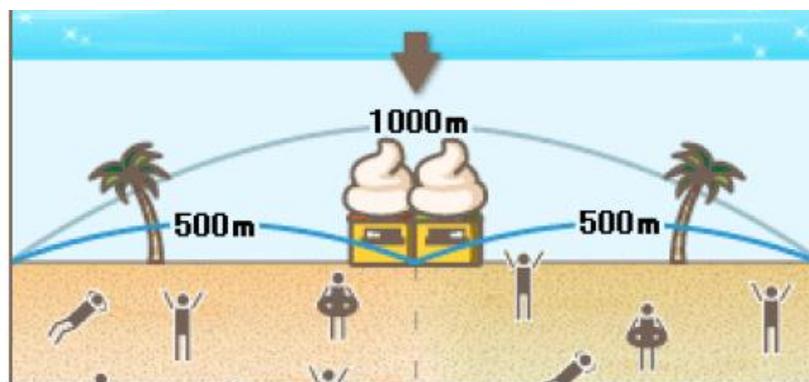
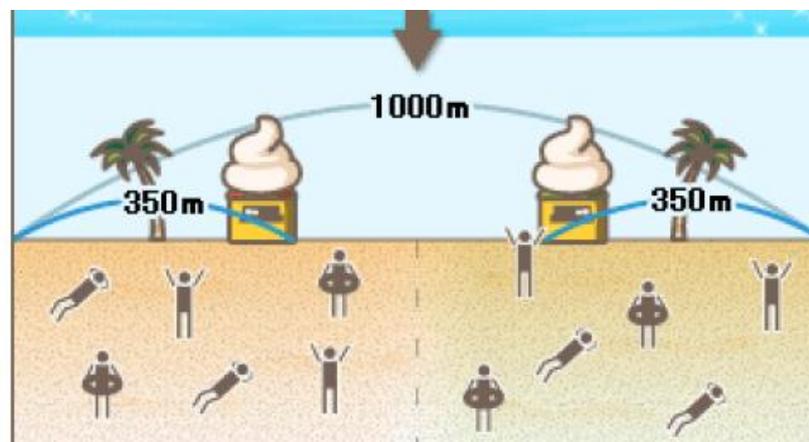
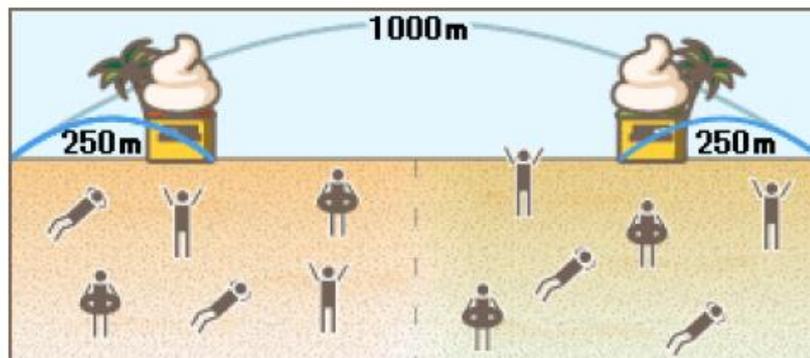
1. ウェイト付き年齢別選挙区
2. 全国民投票制（ドメイン投票）
3. オンブズマン制度の導入
4. 世代会計の義務化
5. ルールで縛る

劣化する経済政策論議

- ① 専門家が明確に反対している政策が取り上げられるようになってきた・・軽減税率、内部留保課税など
- ② 奇策が提案されるようになった・・プレミアム付き商品券、ブラックフライデーなど
- ③ 政府、日銀から「詰め」の甘い文書が発出されるようになった・・日銀「5分で読めるマイナス金利」、政府の伊勢志摩サミット資料
- ④ 民意迎合的な議論が幅を利かせるようになった・・各党の消費税延期賛同、社会保障の充実公約

ホテリング現象：
政権交代を目指す
2大政党の政策は
次第に近似してく
る（右図）

逆ホテリング現
象：政権交代を諦
めた野党は「何で
も反対」になる



独立財政委員会の提案

期待される機能

- ① マクロ経済・財政予測の提供・・・政府の見通しは楽観的になりがちである点を是正
(例：イギリスの予算責任庁)
- ② 財政政策にかかる分析の提供・・・特定の政策が財政に及ぼす影響を分析 (例：オランダの経済政策分析局)
- ③ 財政政策に関する提言

IMFの独立財政機関の提言

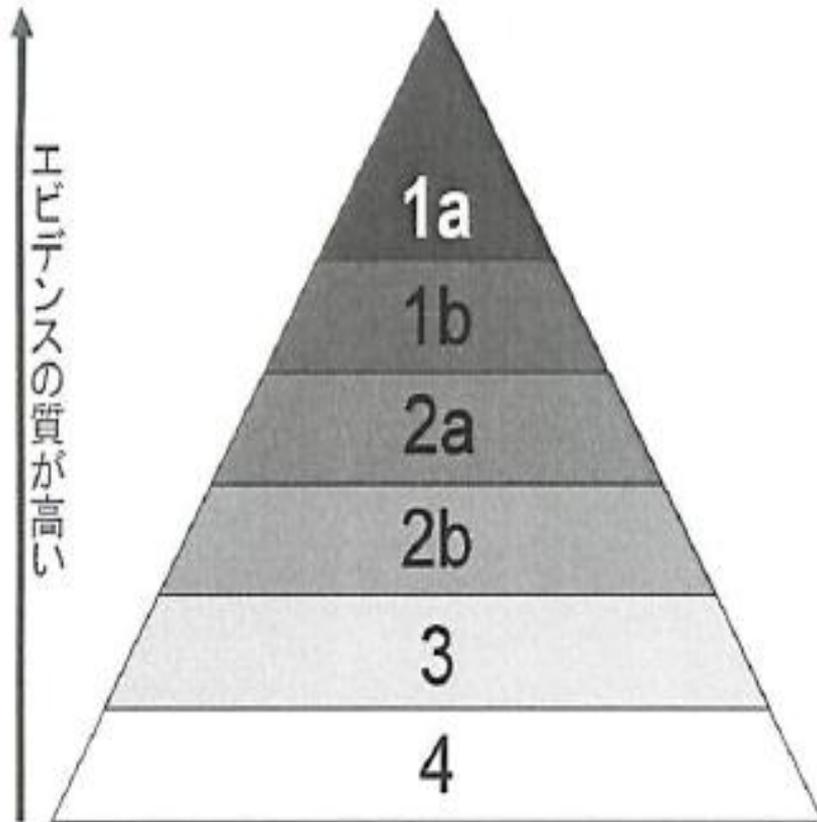
Abstract

In response to the recent financial crisis and the ensuing buildup in public indebtedness, an increasing number of advanced economies have created independent fiscal institutions (IFIs) to improve the quality of public finances and to strengthen the credibility of government policy. A review of Japan's fiscal policymaking over the past decades suggests that Japan would greatly benefit from establishing an IFI in line with internationally accepted standards of good practice. Such an institution could help correct critical weaknesses in policymaking and anchor expectations, especially if introduced as part of a fiscal framework with a medium-term perspective.

政策決定プロセスに参加する 各主体への期待

- ① 国民：近視眼的な民意を変えられるか（公共心の育成、経済学教育）
- ② 政治家：民意への迎合ではなく民意の説得ができるか
- ③ 政府：エビデンスに基づく政策論議を定着させられるか（EBP、行動経済学の応用）
- ④ シンクタンク、エコノミストは有効な政策提言ができるか

図表 2 各種手法のエビデンスレベルと具体例



レベル	内容	手法の例
1a	RCTのメタアナリシス、系統的レビュー	複数のRCTの系統的レビュー
1b	少なくとも1つのRCT	RCT(フィールド実験)
2a	少なくとも1つの準実験	自然実験、差の差推定、回帰分断デザイン、操作変数法
2b	少なくとも1つの非実験的研究	回帰分析、コホート研究
3	比較試験、相関研究、記述的研究	前後比較、ベンチマーキング
4	専門家や実務家の意見	検討委員会による討議、パブリックコメント

(出所) 惣脇(2010)等を参考に三菱 UFJ リサーチ&コンサルティング作成

三菱リサーチ&コンサルティング「エビデンスで変わる政策形成」政策研究レポート2016年2月)より

Executive Order -- Using Behavioral Science Insights to Better Serve the American People

EXECUTIVE ORDER

To more fully realize the benefits of behavioral insights and deliver better results at a lower cost for the American people, the Federal Government should design its policies and programs to reflect our best understanding of how people engage with, participate in, use, and respond to those policies and programs. By improving the effectiveness and efficiency of Government, behavioral science insights can support a range of national priorities, including helping workers to find better jobs; enabling Americans to lead longer, healthier lives; improving access to educational opportunities and support for success in school; and accelerating the transition to a low-carbon economy.